

設置工事説明書

サンポット株式会社

サンポット ガスFF暖房機

製品名	形式の呼び
FF-3019G	FF-3019G
FF-3019G-P	

■取付工事店様へ
設置工事の前に、この設置工事説明書をよくお読みのうえ、正しく握え付けてください。なお、この設置工事説明書は、工事終了後に取扱説明書および住所一覧と一緒に必ずお客様にお渡しください。
●機器を設置する場所には、電気設備に関する技術基準、火災予防条例に定められた設置をする必要があります。各地区の市・町・村火災予防条例に従ってください。
●施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工上起因する不具合が生じた場合は、貴店の保証規定によって修理いただくようお願いいたします。
●機器本体等にテープで貼り付けられている注意チラシ等は読んだ後取り除き、お客様にお渡しください。
●取扱説明書に従って「特に注意していたいただきたいこと」「使用方法」「保証」についてお客様に説明してください。

安全のために必ずお守りください

●ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。表示の意味は次のようになっています。
●ここに示した事項は、**警告**、**注意**に区分しています。

警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後不具合によって使用者が、死亡、重傷を負う可能性や火災の発生が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後不具合によって使用者が、軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●本文中のマークは次のような意味があります。

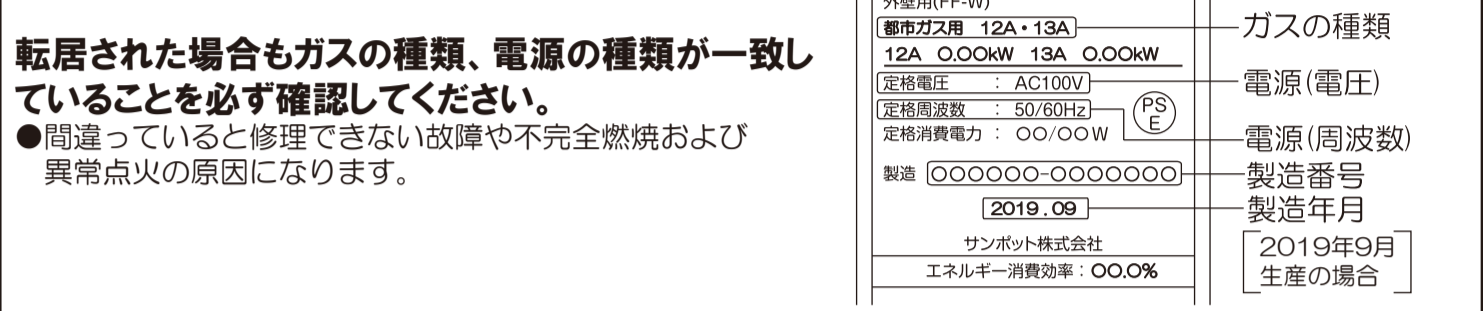
	禁止		指示		注意
警告					
据付けや移設は、販売店または専門業者が行ってください。 ●お客様ご自身で据付けをされ、不備があると火災、一酸化炭素中毒、ガス漏れ、感電の原因になります。					
火災予防条例、電気設備に関する技術基準、電気工事は指定の工事店に依頼するなど法令の基準を守って行ってください。					
設置工事（給排気管の設置を含む）は「ガス機器の設置基準および実務指針」およびこの設置工事説明書をよくお読みにになり、指定された工事を行ってください。 ●設置工事に不備があると火災、一酸化炭素中毒、ガス漏れ、感電の原因になります。					
設置は質量に十分耐える所に確実に行ってください。					

安全のために必ずお守りください

警告
ガス接続は専門業者に依頼してください。
(LPガス・13A・12Aは強化ガスホースか、金属管接続が必要です。)
●この機器はねじ接続です。接続工事には専門の資格、技術が必要です。正しく接続しないと、ガス漏れ、一酸化炭素中毒、火災の原因になります。

指示
設置工事部品は必ず付属部品および指定部品を使用してください。
●当社指定部品を使用しないと、火災、一酸化炭素中毒、ガス漏れの原因になります。

機器上面の銘板に表示してあるガス（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）を使用してください。
●間違っていると修理できない故障や不完全燃焼および異常点火の原因になります。



設置工事が終わったら、設置工事後の点検チェックリストにもとづいて必ず再確認してください。
●設置工事に不備があると、火災、一酸化炭素中毒、ガス漏れ、感電の原因になります。

室内給排気禁止
●室内に排気すると燃焼排ガスが室内に充満して危険です。必ず屋外に排気してください。



床下給排気禁止
●床下に排気すると燃焼排ガスが室内に漏れて危険です。必ず屋外に排気してください。



給排気管を確実に接続
●給排気管を確実に接続し、しっかりと固定してください。風、振動、衝撃などで外れたりすると運転中に燃焼排ガスが室内に漏れて危険です。



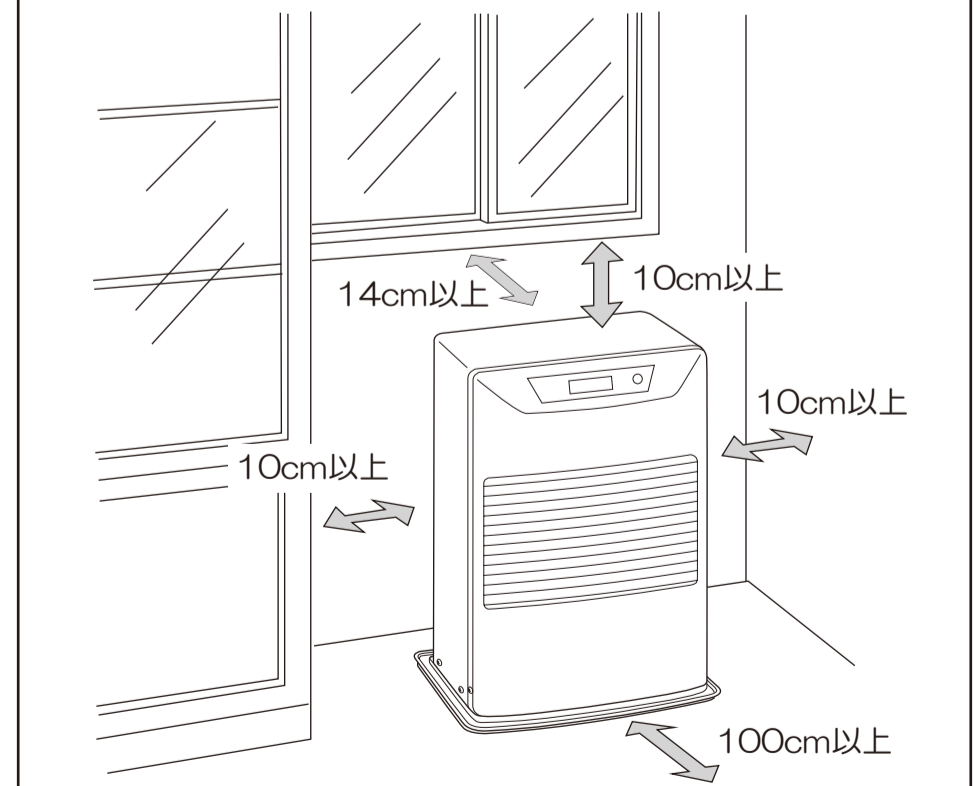
給排気管トップは閉そくしない場所に設置
●給排気管トップの周りが雪でふさがれない場所に設置してください。また、板などによる「雪囲い」は給排気の妨げになるのでおやめください。運転中に燃焼排ガスが室内に漏れて危険です。



据付け

据付場所の選定

機器から周囲の可燃物までの離隔距離は図のような場所を選定してください。
●燃えやすいものや障害物が無い場所。
●水平で安定のよい、しっかりと固い場所。
●機器を壁で固定できる場所。
●電源は家庭用100Vの電源コンセントを使用してください。（電源コードの有効長さは約2メートルです。）
●電気カーペット、湯水マットの上には設置しないでください。機器の重みで、電気カーペットや湯水マットが故障する原因になります。
●給排気管が正しく屋外に取り出せる場所。
●集合煙突には絶対に取り付けしないでください。
●給排気管トップは高温になります。小さなお子様が触れるような場所や、通路、人通りの多い場所には設置しないでください。
●給排気管トップは出入口に近い場所や外気が室内に入りやすい場所には、取り付けしないでください。
●とりの窓の近くに給排気管トップを出すことは、とりに迷惑をかけることとなりますのでおやめください。
●不安定なものを載せた棚などの下には設置しないでください。
●可燃性ガスの発生する場所またはたまる場所には設置しないでください。
●階段、避難口などの付近で避難の支障になる場所には設置しないでください。



据付方法

電気の接続
使用電源の確認
●機器の仕様（電圧・周波数・消費電力）を確認してください。
●電源コンセントの位置は、排気管の放熱を受けないところで電源プラグが着脱でき電源コードが高温部に触れないように設置してください。

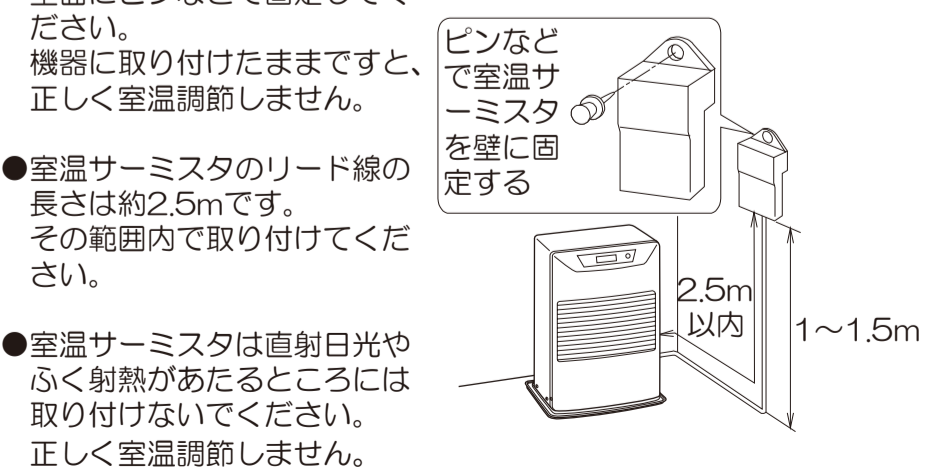
据付け

ガスの接続

ガス接続は必ず強化ガスホースか金属管を使用してください。
●機器側はTJ接続です。
●都市ガス用機器の場合、内管工事士、簡易内管施工士、ガス機器設置スペシャリスト、ガス可とう管接続工事監督者のいずれかの必要な資格を有する者が施工してください。LPガス用機器の場合、液化石油ガス設備士の資格を有する者が施工してください。ガス機器設置スペシャリストは燃焼器具用ホースのみ施工が可能です。なお、液化石油ガス設備工事を行う事業者は、事業所ごとに所在地を管轄する都道府県知事に「特定液化石油ガス設備工事業業開始届書」を提出する必要があります。
●ガス栓よりガスメーター側の工事は、ガス供給業者に依頼してください。
●ガス接続は1/2インチを使用し、できるだけ短くしてください。ガス配管は機器に触れたり、機器の下を通したりしないようにしてください。
また、配管を踏んだり、ひっかけたりしない位置に設置してください。
●ガス接続部に傷がついたり、異物が付着したまま接続されますとガス漏れの原因になります。ガス接続部に傷・異物がないことを確かめてから接続してください。
●ガス栓の操作の妨げにならないようにガス管を接続してください。
●タコ足配管(1箇所から何本も配管すること)はしないでください。
●ガス管は、床または壁にしっかりと固定されていることを確認してください。
●金属配管の場合、サーピス・点検のために機器が取り外せるようにユニオン継手を使用してください。
●接続完了後はガス漏れがないことを確認してください。

室温サーミスタの取り付け

室温サーミスタを壁面に固定してください。
●室温サーミスタを機器より外し、部屋の温度を代表できる壁面(ヒン)などで固定してください。機器に取り付けたままですと、正しく室温調節しません。
●室温サーミスタのリード線の長さは約2.5mです。その範囲内で取り付けてください。
●室温サーミスタは直射日光やふく射熱があたるところには取り付けしないでください。正しく室温調節しません。



据付け

機器の固定

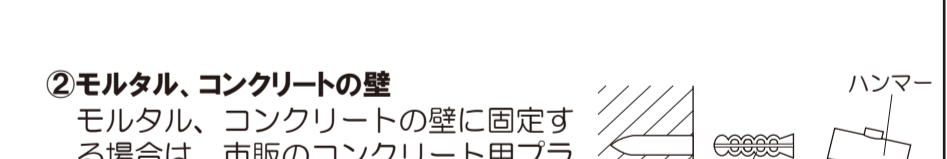
機器の固定は給排気管の固定後に行ってください。

1.壁固定金具Bを機器背面に使用されているねじ(4×10)で固定してください。

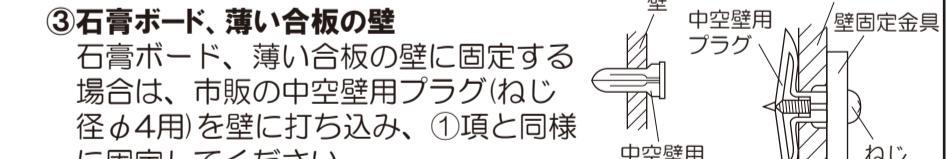


2.壁固定金具Aを壁に固定してください。
壁の材質により次のように取り付けてください。

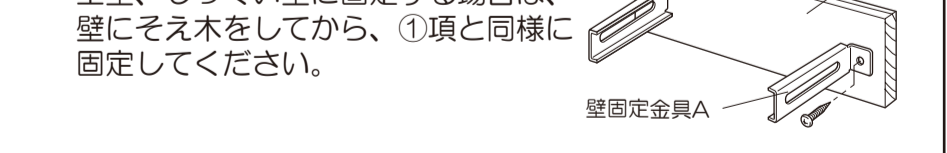
①木または厚い合板の壁
木または厚い合板の壁に固定する場合は、市販のねじ(4×25)を使用して壁に直接固定してください。



②モルタル、コンクリートの壁
モルタル、コンクリートの壁に固定する場合は、市販のコンクリート用プラグ（ねじ径φ4用）を壁に打ち込み、①項と同様に固定してください。



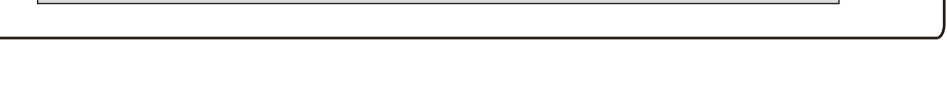
③石膏ボード、薄い合板の壁
石膏ボード、薄い合板の壁に固定する場合は、市販の中空管用プラグ（ねじ径φ4用）を壁に打ち込み、①項と同様に固定してください。



④土壁、しっくい壁
土壁、しっくい壁に固定する場合は、壁にしっくいしてから、①項と同様に固定してください。



3.機器を壁に押し付け、壁固定金具A、Bを付属のねじ(4×10)で固定してください。
●機器は付属の壁固定金具で固定してください。壁で固定できない場所での使用はおやめください。

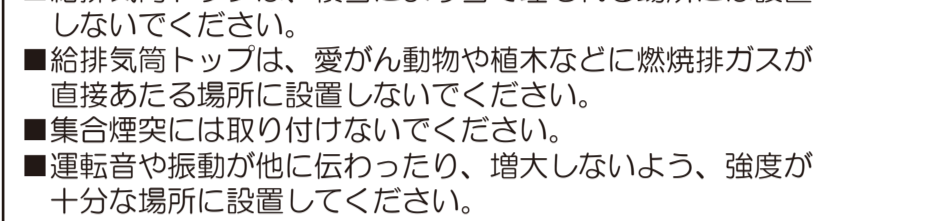


安全のために必ずお守りください

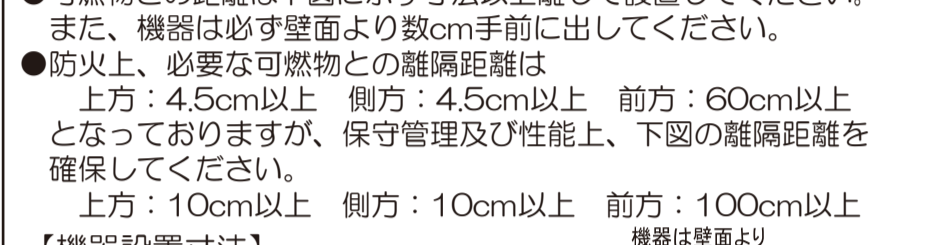
注意
設置場所を決めるときは次のことを確認してください。
●屋外設置しないでください。
●しゅうたんのなどの水平でない場所や不安定な場所には設置しないでください。
●温室、飼育室など人のいない場所には設置しないでください。
●水のかかる場所には設置しないでください。
●特殊環境(温泉害、塩害、大気汚染、化学薬品を使用する場所)には設置しないでください。
●温風吹出口の前にキャリリ格子を取り付けしないでください。
●給排気管トップは、燃焼排ガスがよどむ場所や室内に入りやすい場所には設置しないでください。
●給排気管トップは、横雪により雪で埋もれる場所には設置しないでください。
●給排気管トップは、愛がん動物や植木などに燃焼排ガスが直接あたる場所に設置しないでください。
●集合煙突には取り付けしないでください。
●運転音や振動が他に伝わったり、増大しないよう、強度が十分な場所に設置してください。

可燃物との距離を離す
●可燃物から周囲の可燃物までの離隔距離は図【機器設置寸法】のようにしてください。
●防火上、必要な可燃物との離隔距離は
上方：4.5cm以上 側方：4.5cm以上 前方：60cm以上
●図では可燃物までの離隔距離を示していますが、性能維持のため、(※1部は除く)

可燃物と壁との距離を離す
●図の寸法は防火上必要な寸法であり、燃焼排ガスが滞留しない寸法ではありません。
注(※1)
60cm以上の寸法は、不燃材を使用する場合30cm以上とする。



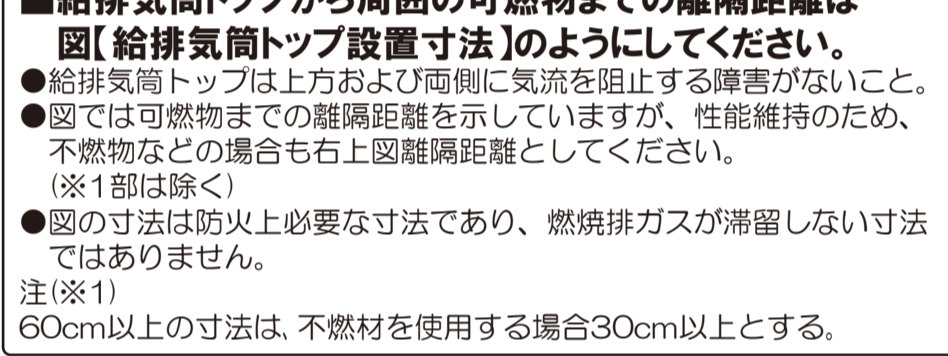
可燃物と壁との距離を離す
●図の寸法は防火上必要な寸法であり、燃焼排ガスが滞留しない寸法ではありません。
注(※1)
60cm以上の寸法は、不燃材を使用する場合30cm以上とする。



■給排気管トップから周囲の可燃物までの離隔距離は【給排気管トップ設置寸法】のようにしてください。
●給排気管トップは上方および両側に気流を阻止する障壁がないこと。
●図では可燃物までの離隔距離を示していますが、性能維持のため、(※1部は除く)



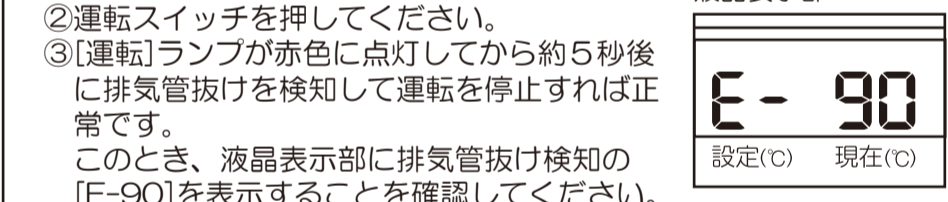
■給排気管の標準設置工事方法
●給排気管の両端部は、給排気管の呼び径D40のものを使用してください。指定以外のものは使用しないでください。
指定の給排気管セットは：FWT-6Z-G、FWT-6K-G



給排気管の取り付け

排気管抜け検知装置の作動確認

●この作動確認作業終了後「給排気管の標準設置工事方法」に従って、給排気管の取り付けを行ってください。
●排気管抜け検知装置を作動させてください。



●排気管抜け検知装置が作動しない場合は、給排気管(または排気管)あるいは排気管抜け検知リード線と機器が電気的に導通していることが考えられます。

給排気管の標準設置工事方法

●給排気管および工部品は、給排気管の呼び径D40のものを使用してください。指定以外のものは使用しないでください。
指定の給排気管セットは：FWT-6Z-G、FWT-6K-G

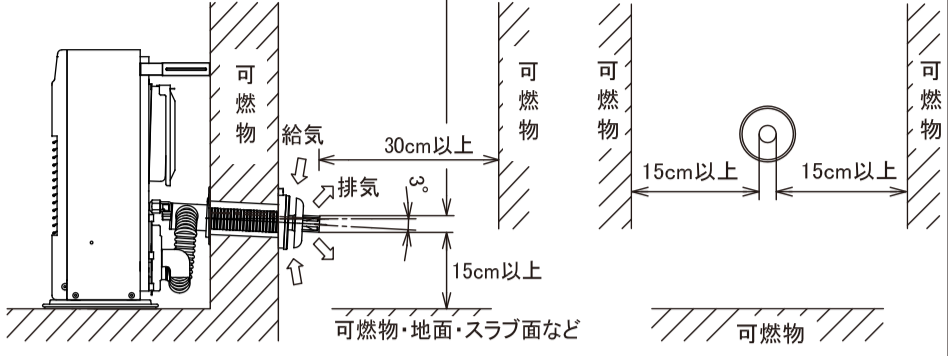
●給排気管の両端部は、給排気管の呼び径D40のものを使用してください。指定以外のものは使用しないでください。
指定の給排気管セットは：FWT-6Z-G、FWT-6K-G

■給排気管の両端部(パイプの先端など)でケガをしないように、手袋をはめて行ってください。

- 設置場所を決めてください。
- 給排気管の穴あけ位置を決めてください。
●給排気管標準設置取り付け紙を壁に押し当てて、給排気管穴位置を決めてください。
●壁固定金具取付位置のねじ穴にも印をつけてください。(穴位置が決まりましたら紙型をはがしてください。)
- 壁に給排気管の穴をあけ給排気管を取り付けてください。
●給排気管の取り付け方法は給排気管の種類によって異なりますので、給排気管の付属の説明書に従って取り付けしてください。
●壁に給排気管の穴をあけ給排気管を取り付けてください。室内側、室外側、排気管エルボ、ストッパー
- 機器から排気管エルボを外してください。
●ストッパーを固定している2本のねじをゆるめて、ストッパーをずらして排気管エルボを外してください。

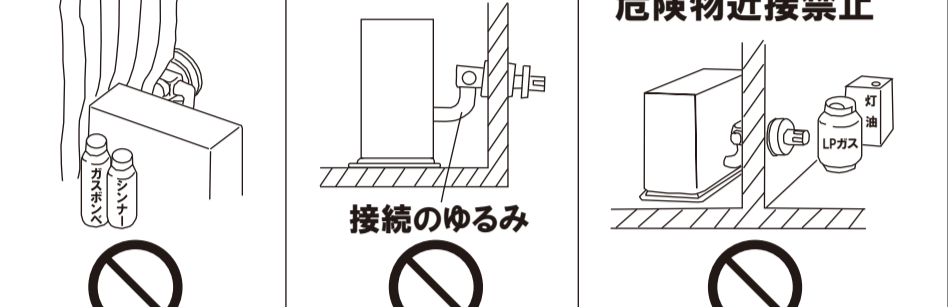
安全のために必ずお守りください

注意
【給排気管トップ設置寸法】
●可燃物との距離を離す。
●可燃物と壁との距離を離す。
●給排気管トップは、横雪により雪で埋もれる場所には設置しないでください。
●給排気管トップは、愛がん動物や植木などに燃焼排ガスが直接あたる場所に設置しないでください。
●集合煙突には取り付けしないでください。
●運転音や振動が他に伝わったり、増大しないよう、強度が十分な場所に設置してください。

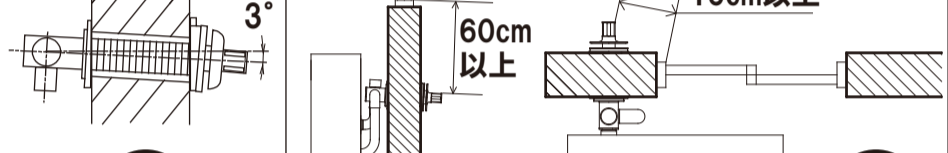


給排気管の点検
●取り付けが終わりましたら、もう一度点検してください。次のような取り付けは、危険であったり、異常燃焼をおこすおそれがあるので、必ず修正してください。

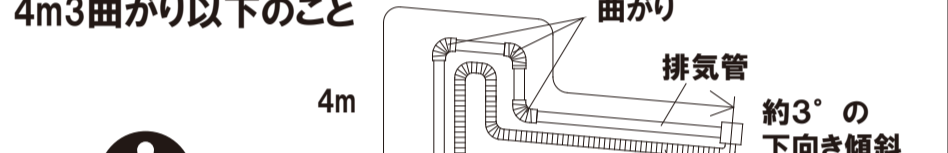
可燃物近接禁止
●可燃物との距離を離す。
●可燃物と壁との距離を離す。
●給排気管トップは、横雪により雪で埋もれる場所には設置しないでください。
●給排気管トップは、愛がん動物や植木などに燃焼排ガスが直接あたる場所に設置しないでください。
●集合煙突には取り付けしないでください。
●運転音や振動が他に伝わったり、増大しないよう、強度が十分な場所に設置してください。



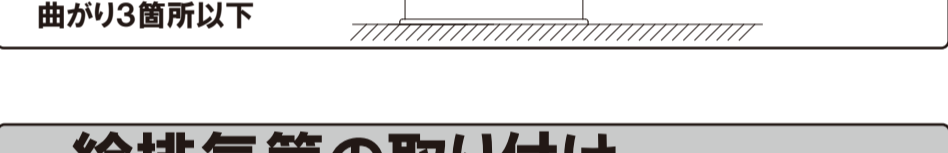
接続部のゆるみ
●接続部のゆるみを調整してください。



給排気管トップ付近の危険物近接禁止
●給排気管トップ付近の危険物に近づかないようにしてください。



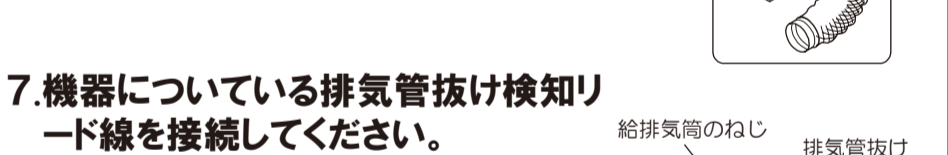
下り勾配のこと
●給排気管トップと開口部との距離は離す。
●下り勾配の角度は3°以上、15cm以上。



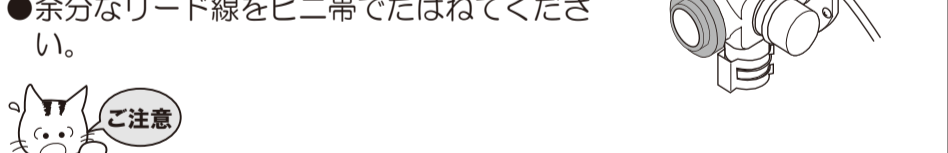
4m3曲がり以下のこと
●給排気管の曲がり半径は4m以上、3曲がり以下。
●給排気管の曲がり半径は4m以上、3曲がり以下。



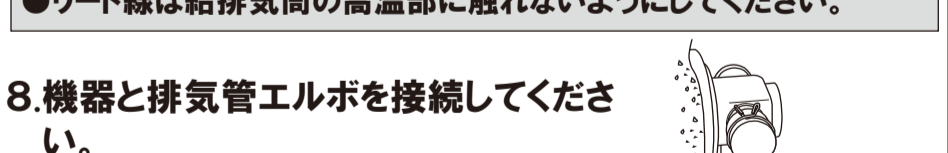
5.排気管エルボに付属の断熱カバーをかぶせてください。



6.排気管エルボを給排気管に取り付けてください。
●給排気管の排気口に排気管エルボを差し込んでください。
●差し込み部のリップをはさんで付属のストッパーリングをかけてください。



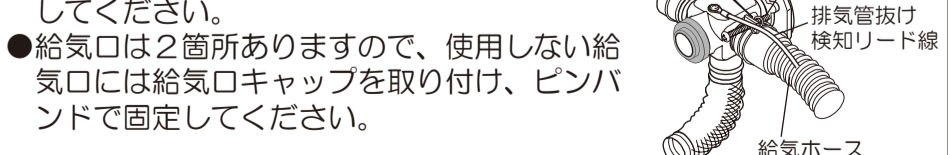
7.機器についての排気管抜け検知リード線を接続してください。
●機器背面に固定してある排気管抜け検知リード線を機器から外し、のびしてください。
●排気管抜け検知リード線の先端の端子を、給排気管のねじで固定してください。
●余分なリード線をビニテープでたばねてください。



8.機器と排気管エルボを接続してください。
●機器を動かす。機器の排気口に排気管エルボを2段目のリップが完全に機器の内側にいるまで差し込んでください。
●ストッパーを排気管エルボに押し当ててねじ2本を締めつけてください。



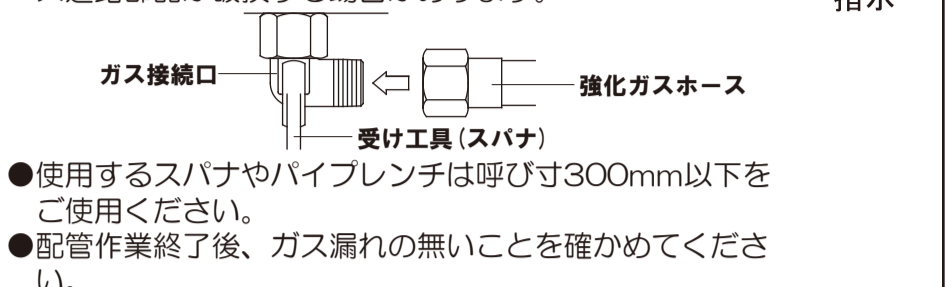
9.給気ホースを給排気管に固定してください。
●給気ホースに付属のワイヤーバンドを通して、給気ホースを給排気管の給気口のリップまで差し込み、ワイヤーバンドで締めて固定してください。
●給気口の2箇所ありますので、使用しない給気口には給気口キャップを取り付け、ピンバンドで固定してください。



●給気ホースが排気管に当たらないようにしてください。

安全のために必ずお守りください

注意
配管接続するときには下記点に注意してください。
●配管接続時には、ガス接続口に力がかからないように機器側に受け工具を使用して行ってください。無理な力がかかると、ガス接続口や、機器内部のガス通路部品が破損する場合があります。
●使用するスパナやパイプレンチは呼び寸300mm以下をご使用ください。
●配管作業終了後、ガス漏れの無いことを確かめてください。



開こん

●ダンボール箱から機器を取り出し、パッキン材、テープなどを取り除いてください。

付属品の確認
●付属品として次のものが用意されていますので確認してください。

壁固定金具	ワイヤーバンド	断熱カバー
壁固定金具A (2個)	壁固定金具B (2個)	4×25 ねじ (2個)
		4×10 ねじ (2個)
		(1個)
		(1個)
ストッパーリング	取扱説明書	設置工事説明書
(1個)	(1冊)	本紙(1部)
		住所一覧 (1枚)

●給排気管は別梱包・別売品です。指定の給排気管セットの中から準備してください。
指定の給排気管セット FWT-6Z-G FWT-6K-G

●壁の素材により壁固定金具の固定する方法が異なりますので、**機器の固定**を参照して適切な方法で固定してください。
給排気管の延長設置・高地設置工事方法
●給排気管の標準設置以外にも排気管や給気管を延長して取り付けることができます。給排気管の呼び径D40タイプの別売延長部材を使用して延長工事を行ってください。
●高さ方向への延長は2mまでです。
●機器についての排気管抜け検知リード線は約2mまで延長できます。それ以上の場合は別売の抜け検知リード線(IFR-1)で延長してください。
●延長して使用する場合や高地で使用する場合は、燃焼用送風機の回転数を調整する必要があります。以下の手順と下表を参考に設定してください。(設定は操作部で行います)

●設定方法
①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
②「タイマー2」ボタン・「設定切換」ボタン・「高・送り」ボタンを同時に5秒間長押ししてください。

●設定方法
①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
②「タイマー2」ボタン・「設定切換」ボタン・「高・送り」ボタンを同時に5秒間長押ししてください。

●設定方法
①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
②「タイマー2」ボタン・「設定切換」ボタン・「高・送り」ボタンを同時に5秒間長押ししてください。

●設定方法
①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
②「タイマー2」ボタン・「設定切換」ボタン・「高・送り」ボタンを同時に5秒間長押ししてください。

●設定方法
①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
②「タイマー2」ボタン・「設定切換」ボタン・「高・送り」ボタンを同時に5秒間長押ししてください。

●設定方法
①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
②「タイマー2」ボタン・「設定切換」ボタン・「高・送り」ボタンを同時に5秒間長押ししてください。

●設定方法
①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
②「タイマー2」ボタン・「設定切換」ボタン・「高・送り」ボタンを同時に5秒間長押ししてください。

●設定方法
①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
②「タイマー2」ボタン・「設定切換」ボタン・「高・送り」ボタンを同時に5秒間長押ししてください。

●設定方法
①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
②「タイマー2」ボタン・「設定切換」ボタン・「高・送り」ボタンを同時に5秒間長押ししてください。

●設定方法
①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
②「タイマー2」ボタン・「設定切換」ボタン・「高・送り」ボタンを同時に5秒間長押ししてください。

●設定方法
①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
②「タイマー2」ボタン・「設定切換」ボタン・「高・送り」ボタンを同時に5秒間長押ししてください。

●設定方法
①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
②「タイマー2」ボタン・「設定切換」ボタン・「高・送り」ボタンを同時に5秒間長押ししてください。

●設定方法
①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
②「タイマー2」ボタン・「設定切換」ボタン・「高・送り」ボタンを同時に5秒間長押ししてください。

●設定方法
①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
②「タイマー2」ボタン・「設定切換」ボタン・「高・送り」ボタンを同時に5秒間長押ししてください。

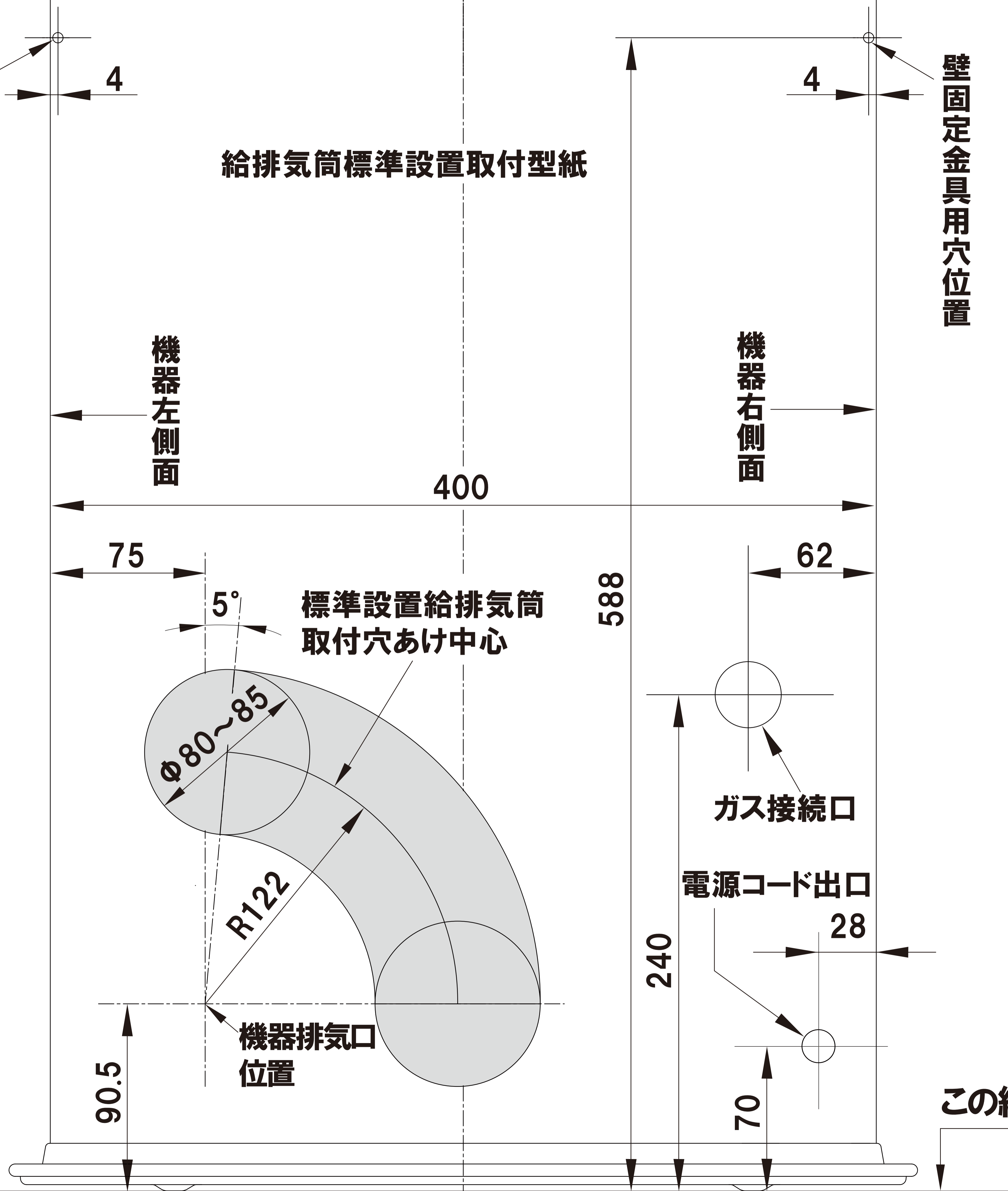
●設定方法
①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
②「タイマー2」ボタン・「設定切換」ボタン・「高・送り」ボタンを同時に5秒間長押ししてください。

裏面につづく

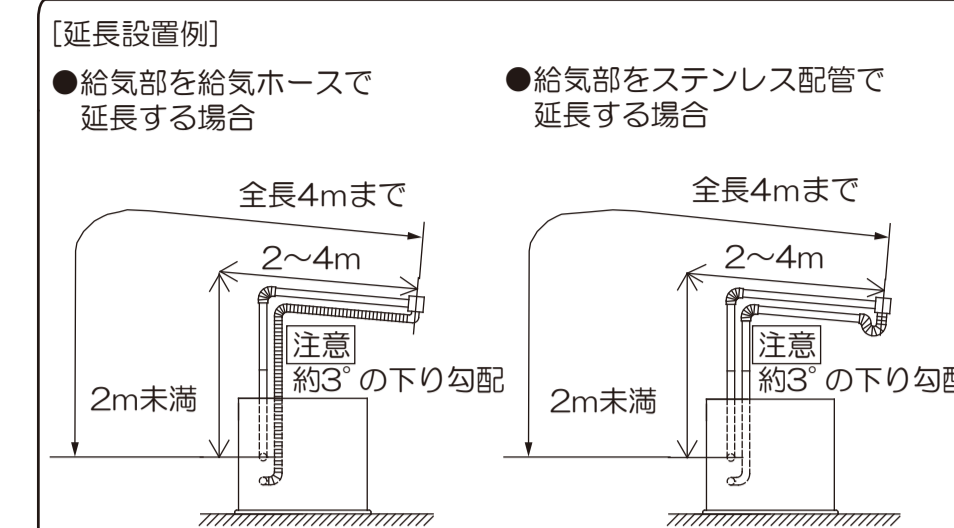
壁固定金具用穴位置

壁固定金具用穴位置

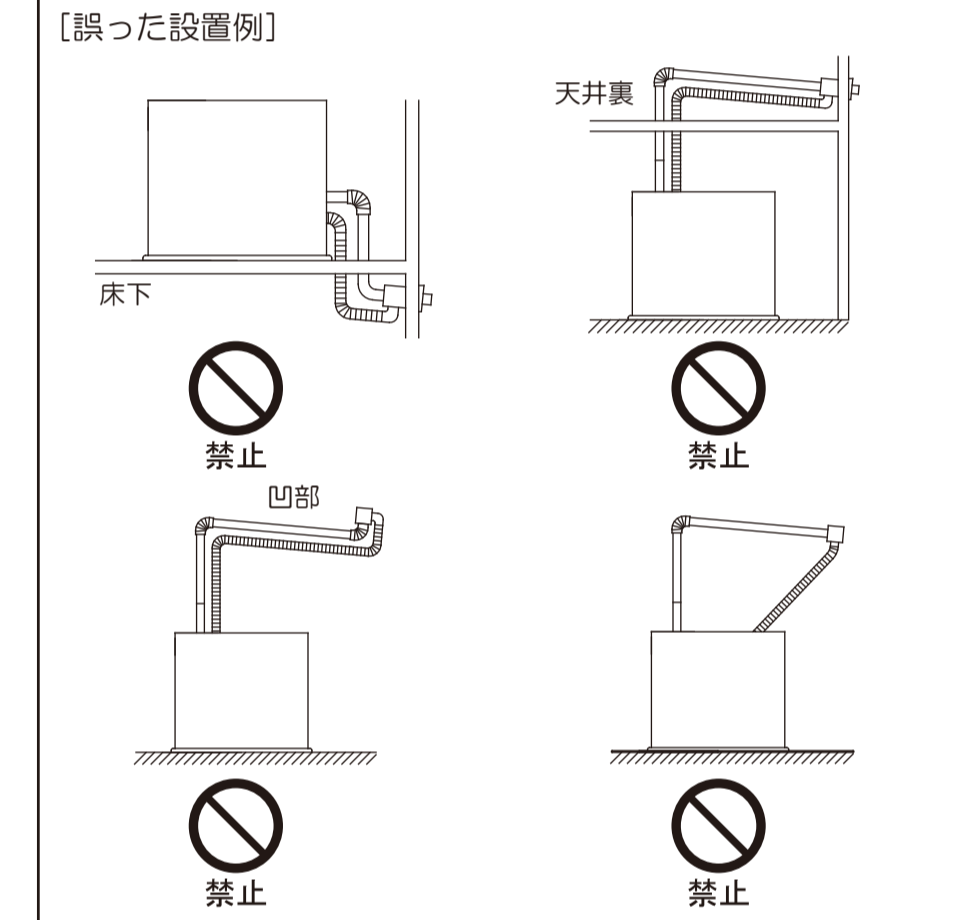
給排気筒標準設置取付型紙



給排気筒の取り付け



- 【延長設置例】**
- 給気部を給気ホースで延長する場合
 - 給気部をステンレス配管で延長する場合
- 【注意】**
- 延長配管の長さは4m以下、曲がりは3箇所以下になるように配管してください。それ以上延長しますと異常燃焼するなど機器の故障の原因となります。
 - 高さ方向の延長は2mまでです。必ずお守りください。
 - 排気管の途中に水滴(ドレン)がたまるような下り勾配(凹部)をつけると燃焼排ガス中のドレンが排気管内にたまり、不完全燃焼の原因になります。
 - 2m以上の延長配管部は、給排気筒側へドレンが流れるように横引部には3°以上の下向き傾斜をつけてください。
 - 床下、天井裏などの目がとどこかないところへの配管はしないでください。
 - 給気管と排気管は同じ長さで配管してください。
 - 排気管接続部の全てにストッパーリングの取り付けを確実に行ってください。
 - 「E-90」を表示し点火できないことがあります。
 - 最大使用標高は1500mです。
 - それ以上の標高が高いと異常燃焼の原因になります。



設置工事後の点検

チェックリスト

- 設置が終了したら、下記のチェックリストで設置が正しく行われているか確認を必ず行ってください。
- チェック欄の中にし印をつけてください。

参照項目	点検項目	点検内容	チェック
安全のため必ずお守りください	ガス種	機器が使用するガス種と適合していますか	
	電源	電源電圧(AC100V)、周波数(50/60Hz)に適合していますか	
	可燃物との距離	可燃物との距離・火災予防上の措置はとられていますか	
	設置条件	障害物等との距離は十分ですか	
据付け	据付け場所	的確な場所に据付けていますか 点検・修理に必要な空間はありますか	
	電気接続	電源プラグは着脱できますか 排気管の放熱を受けないようになっていますか	
	ガス接続	正しく接続されていますか	
	室温サーミスタ	適切に取り付けられていますか	
給排気筒の取り付け	機器の固定	壁固定金具は確実に取り付けられていますか	
	給排気筒	3°下り勾配になっていますか 給排気筒はしっかり固定されていますか 給排気筒周りにコーキングはされていますか	
	排気管抜け検知装置	給排気筒と排気管エルボは確実に接続が行われていますか 正しく作動しますか	
	給・排気管	延長の長さ・曲がりの数は守られていますか 配管途中にドレンがたまるような下り勾配(凹部)はありませんか 床下、天井裏など目のとどこかない所に配管していませんか	

試運転

- 試運転は使用者と一緒に行ってください。
- 詳しくは取扱説明書の「試運転」の項を参照してください。
- 取扱説明書によって機器の取扱いを説明してください。
- 取扱説明書の巻末にある保証書に必要事項を記入の上、保管のお願いをしてください。